

シンポジウム

5月30日(金)

シンポジウム1

施設病理診断の均霑化—現状と課題—

8:10～9:05 A会場(山形テルサ 3F アプローチ)

座長： 群馬大学大学院 医学系研究科 病態病理学分野 横尾 英明
金沢大学 脳神経外科 中田 光俊

「施設の病理診断に求められるもの」【指定演題】

群馬大学 医学部 病態病理 横尾 英明

「最適な診断のための脳外科と病理診断科の共同作業」【指定演題】

弘前大学大学院 医学研究科 病理診断学講座 黒瀬 顕

「アジア・オセアニア地域におけるWHO脳腫瘍分類均霑化の試み」【指定演題】

あさか医療センター 臨床検査部／東京女子医科大学 脳神経外科 小森 隆司

「WHO分類第5版に基づく診断の現状と課題」

国立がん研究センター中央病院 脳脊髄腫瘍科 大野 誠

シンポジウム2

分子病理診断の地域での取り組み

9:05～10:15 A会場(山形テルサ 3F アプローチ)

座長： 杏林大学 医学部 病理学教室 柴原 純二
名古屋大学大学院 医学系研究科 脳神経外科学 齋藤 竜太

「関西中枢神経腫瘍分子診断ネットワークにおけるグリオーマ分子診断体制構築の試み」【指定演題】

国立病院機構 大阪医療センター 臨床研究センター／
国立病院機構 大阪医療センター 脳神経外科 金村 米博

「K-Panel による神経膠腫の統合分子病理診断」【指定演題】

鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 病理学 谷本 昭英

「当院における神経膠腫に対する遺伝子解析」

名古屋大学 医学部 脳神経外科 青木 恒介

「地域中核施設におけるグリオーマの分子診断の最適化：大分大学の試み」

大分大学 医学部 脳神経外科 秦 暢宏

「グリオーマ診断困難例に対するゲノムワイドメチル化解析の役割」

岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 脳神経外科 大谷 理浩

「Schlafen11高発現神経膠腫の治療 ～光と影～」

新潟大学脳研究所 脳神経外科／新潟大学脳研究所 脳疾患先端治療研究部門
棗田 学

シンポジウム3

がん遺伝子パネル検査—現状と課題—

13:50～15:00 A会場（山形テルサ 3F アプローズ）

座長： 浜松医科大学 脳神経外科 黒住 和彦
神戸大学大学院 医学研究科 医療創成工学専攻 村垣 善浩

「Glioblastomaに対するゲノム解析」

中部国際医療センター 脳神経外科 三輪 和弘

「がんゲノム遺伝子パネル検査とin house遺伝子解析の組み合わせから見えた神経
膠腫の特徴」

横浜市立大学大学院 医学研究科 脳神経外科学／
横浜市立大学大学院 生命医科学研究科 創薬再生科学研究室 立石 健祐

「がんゲノム医療における脳腫瘍患者への包括的ゲノムプロファイリング(CGP) 検査
の意義と課題」

藤田医科大学 医学部 脳神経外科 大場 茂生

「脳脊髄腫瘍における包括的がんゲノムプロファイリング検査の現状と問題点」

京都府立医科大学大学院 医学研究科 脳神経機能再生外科学 小川 隆弘

「当院における脳腫瘍がんゲノムプロファイリング検査の現状」

東北大学大学院 医学系研究科 神経外科学分野 下田 由輝

「がんゲノム解析からみえた神経膠腫患者におけるMSH6遺伝子機能喪失とリンチ
症候群の診断」

浜松医科大学 脳神経外科 小泉慎一郎

「実臨床における脳腫瘍の包括的ゲノムプロファイリング(CGP) とメチル化解析の応用」

京都大学 医学部 脳神経外科 峰晴 陽平

5月31日(土)

シンポジウム4

AI 診断の最前線

8:00～8:45 A会場（山形テルサ 3F アプローズ）

座長： 総合病院 厚生中央病院 脳神経外科 秋元 治朗
新潟大学脳研究所 病理学分野 柿田 明美

「成人グリオーマ病理標本からgenotypeを予測するAIアルゴリズム：
現状と近未来予測」【指定演題】

長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 統合脳神経科学分野 増井 憲太

「AIを利用した分子病理診断～AIは何を考えた、どう診断したのか～」

東京医科大学病院 脳神経外科 永井 健太

「神経膠腫術中診断とアプリ開発

～術前画像とフローサイトメトリーを統合した機械学習モデル～」

東京女子医科大学 脳神経外科 郡山 峻一

「人工知能による髄芽腫の病理画像の解析と予後との関連」

埼玉県立小児医療センター 病理診断科／東京医科大学 分子病理学分野
渡辺 紀子

シンポジウム5

間脳・下垂体疾患の病理診断—WHO 改訂後の動き—

8:50～9:55 A会場（山形テルサ 3F アプローズ）

座長： 北里大学メディカルセンター 脳神経外科 岡 秀宏
東京女子医科大学 脳神経外科学講座 川俣 貴一

「PitNETのWHO病理診断の問題点と臨床への影響」【指定演題】

虎の門病院 間脳下垂体外科 西岡 宏

「Craniopharyngiomaにおける分子病理診断」【指定演題】

鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 脳神経外科学／
鹿児島大学病院 下垂体疾患センター 藤尾 信吾

「間脳・下垂体疾患の病理診断—WHO改訂後の動き—病理医の立場から」
【指定演題】

森山記念病院 病理診断科 井下 尚子

「炎症性ラトケ嚢胞と乳頭状頭蓋咽頭腫との鑑別における
BRAF V600E変異の有用性」

大阪大学 医学部 脳神経外科 萩岡 起也

「脳腫瘍に対する近赤外光線免疫療法における最適なソマトスタチン
受容体抗体の選択」

新潟大学 医学部 医学科／新潟大学脳研究所 脳神経外科学分野 西堀 夏帆

シンポジウム6

良性脳腫瘍の分子病理診断—臨床的意義—

10:00~10:50 A会場（山形テルサ 3F アプローズ）

座長： 高知大学 医学部 脳神経外科学教室 上羽 哲也
旭川医科大学病院 病理部 谷野美智枝

「神経鞘腫における発生部位別遺伝子・病理解析と臨床経過の検討」

慶應義塾大学 医学部 脳神経外科 田村 亮太

「髄膜腫におけるp16/MTAP免疫染色によるCDKN2A/B status評価の有用性」

九州大学大学院 医学研究院 脳神経外科 尾辻 亮介

「C-CATデータを用いた本邦における髄膜腫の遺伝学的解析」

岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 脳神経外科学 池町 涼介

「悪性髄膜腫に人為的石灰化をもたらすオートファジーの役割」

宮崎大学 医学部 臨床神経科学講座 脳神経外科学分野／池田病院 横上 聖貴

「分子標的治療時代における頭蓋咽頭腫のDNA/RNAシーケンスパネル」

鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 脳神経外科学／
鹿児島大学病院 下垂体疾患センター 牧野隆太郎

シンポジウム7

画像診断と病理診断

13:20~14:25 A会場（山形テルサ 3F アプローズ）

座長： 岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 脳神経外科学 田中 將太
香川大学 医学部 脳神経外科 三宅 啓介

「神経膠腫の放射線画像と分子病理診断」【指定演題】

旭川医科大学 脳神経外科学講座 木下 学

「分子診断時代にGliomatosis cerebriを定義する：

画像、病理形態、分子解析からの統合診断」

総合病院 厚生中央病院 脳神経外科／東京医科大学 脳神経外科学分野
秋元 治朗

「脳腫瘍における病理学的・分子生物学的特徴とメチオニンPET検査所見の関係」

名古屋大学 医学部 脳神経外科 芝 良樹

「複数PET検査を用いた膠芽腫と転移性脳腫瘍との鑑別」

香川大学 医学部 脳神経外科 三宅 啓介

「テント上IDH野生型膠芽腫における遺伝子発現と画像所見の関連」

愛媛大学大学院 医学系研究科 脳神経外科学 山下 大介

「拡散テンソル画像の複数パラメータを用いた髄膜腫の悪性度予測」

京都大学大学院 医学研究科 脳神経外科学 荒川 芳輝